



洗い心

村山市立袖崎小学校
学校だより
No.16

令和7年12月11日発行

その道のプロに学ぶ～救急救命、歯科・栄養指導～

11,12月は、専門家のみなさんをお招きして、子どもたちが特別な学びの時間を過ごしました。消防士さん・歯科医師さん・栄養教諭の先生など、その道のプロの方のお話には、教科書だけでは味わえない生きた学びがありました。



子ども救急救命士講習



村山消防署の消防士さんから、5年生が「応急手当と119番通報」、6年生が「心肺蘇生とAEDの使い方」を教えていただきました。5年生は、家族が餅をのどに詰まらせた時の対処法や、正確に通報することの大切さと難しさについて、演習を通して学びました。6年生は、模型を使いながら、心肺蘇生法やAEDの使い方を学びました。AEDを使うのは私たち一般市民です。救急隊員の到着を待っていては救えない命を、私たち一人一人が知識と勇気をもつことで救うことができると知り、子どもたちは驚きと責任を感じた様子でした。



歯科指導 にいらっしゃる歯科医院の方から、1, 3, 4年生に指導いただきました。子どもたちは、自分の歯の染め出しの結果を見た後、毎日の歯みがきが将来の健康にどうつながるのかという話を熱心に聞きました。「もっとていねいに磨こう。」「おやつの食べ方に気をつけよう。」と、生活を見直すきっかけになったようです。

栄養指導



楯岡小学校の栄養教諭から、バランスのよい食事が心と体の成長につながることを、給食と関連させながら教えていただきました。

【1年生「やさいとともにだらになろう」】では、クイズを通して、野菜を食べると体によいことを学びました。学習後の給食では、苦手な野菜を食べようとがんばる様子が見られました。



【3, 4年生「食べ物の働きについて考えよう」】では、寸劇でタンパク質、炭水化物、ビタミンの働きを知り、バランスよく食べることの大切さを学びました。さらに、模型で腸の長さを知り、子どもたちはびっくりしていました。

【5, 6年生「成長期に必要な栄養について考えよう」】では、成長期には特に大切な、鉄分について学びました。鉄分の働きや鉄分を多く含む食べ物について知り、自分の食生活を振り返りました。学習後、「これからは、(鉄分を多く含む)牛肉やレバー、マグロなどをもっと食べたい。」という言葉が聞かれ、意識の高まりを感じました。



子どもたちにとって、専門家から直接聞く言葉は、説得力があり、心に深く残ります。学校ではこうした学びを、知識を広げるだけでなく、子どもたちの価値観や生き方にまで影響を与えてくれる大切な機会ととらえ、今後も実践して参ります。(なお、2年生は、後日手洗いについて学ぶ予定です。)